

寒川町地域自立支援協議会 障がい理解・啓発活動 「寒川駅北口公園ライトアップ」 企画書（案）

茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会

小川原寿恵

【背景】

- ◎ 28年8月から9月に協議会で実施した「相談に係るアンケート」の「解決に困った相談」に、障がい理解・周知の不十分に関わる回答が多かった。
- ◎ 今年度6月までに行われた福祉団体への聞き取りの途中報告でも障がい理解・周知が不十分なために起こった問題が多く寄せられた。
- ◎ 啓発活動の一例として、「世界自閉症啓発デー」では、毎年4月2日に世界中で自閉症啓発シンボルカラーの青い光のライトアップが行われる「ライト・イット・アップ・ブルー」がある。日本でも各地のランドマークが青い光でライトアップされている。県内では、横浜マリントワー、八景島シーパラダイス、江の島シーキャンドル、大磯プリンスホテルなど。

1. 目的 自閉症スペクトラム障害（発達障害）を中心に、寒川町における障害児・者への理解を深め、身近な地域で、絆のある町づくりを目指す

2. 日時 2018年 4月 2日（火） 10時～20時

3. 内容

（1）第1部 基調講演（10時～12時） 会場）寒川町民センター展示室

- ◎ 企画目的を深めるために障害児・者やその家族、町民がみんなで考える機会として開催
障害の理解を深めるテーマ、または差別解消法など、障害児・者の権利保障をテーマとした一般町民対象の講演会

（2）第2部 街頭キャンペーン（16時～18時） 会場）寒川駅北口公園

- ◎ 通行が多い時間帯に、障害児・者の日頃の暮らしや活動・町の取り組みを知ってもらおう機会として実施

- ① 寒川町の障害福祉に関するリーフレットの配布
- ② 障害児・者が手掛けたアート作品や製作風景・暮らしぶりが分かる動画の上映
- ③ 当事者団体の活動の様子が分かるパネルなどの展示
- ④ 障害者事業所の自主製品の展示・販売

（3）第3部 イルミネーション（18時～20時） 会場）寒川駅北口公園

- ◎ 世界自閉症啓発デーで各地で開催される Light it up Blue と合流して、イルミネーションを活

用して周知を図る

- ①北口公園のイルミネーションを青にして点灯
- ②この日だけのオブジェ（またはメッセージなど）を制作し、青いイルミネーションで飾る

4. 予 算

第1部講師謝礼	10,000円
第2部リーフレット印刷	2,000円（用紙代）
第2部展示用パネル	0円（各団体で作成、展示パネルは町または福祉活動センターより借用）
第2部動画製作	0円（各団体でホームビデオで作成）
第3部イルミネーション機器	18,000円
計	30,000円

5. 実施に向かった課題

(1) 費用の捻出

(参考)イルミネーション機器の費用は県内各地区無料で行っているとのこと。

施設側の社会貢献として無料で行っていただくか、有料の場合は地元企業等から寄付金を集めて支払っている。可能であれば、他地区に合わせて無料で実施して欲しいというのが神奈川県自閉症児・者親の会連合会の意向。

(2) 他障害との共同の活動にして良いかどうか（他団体の意向、自閉症児・者親の会の意向）

(3) 日程 「啓発デー（4月2日）」で良いかどうか（新年度スタートの日のため）

6. 実施に向けたスケジュール

- | | |
|-----|---|
| 8月 | 自立支援協議会で企画（案）提案
（意見交換の後、委員に持ち帰っていただき、各団体での検討をお願いする） |
| 10月 | 自立支援協議会で意見交換
（各団体・機関からの意見を持ち寄り、再度意見交換。実施の可否を決める） |
| 11月 | 実施しない場合）終了
実施の場合）会場、講師、各団体・委員の役割分担の検討
参加団体呼びかけ・参加依頼 |
| 12月 | 当日のスケジュール、レイアウトなど実施詳細の検討 |
| 1月 | 寒川町へ広報の依頼 |
| 2月 | 物品購入、チラシ配布 |
| 3月 | 直前打ち合わせ |